青柳中学校 学校経営方針

令和５年度　函館市立青柳中学校グランドデザイン

青柳ネットブロック
【目指す子ども像】「自ら進んで学び 豊かな人間性溢れる たくましい子ども」

国・道・市の教育の重点

○「生きる力」の育成
○その先の道を切り拓く北海道人
○自他のよさを活かし、意欲的に学び、社会を生き抜く力を育む
「創り出す」「身に付ける」「つなげる」
○全ての子どもに寄り添う学校教育
○教育環境の充実

社会・教育界の動向

○少子高齢化、グローバル化、情報化などによる急激な社会の変化
○主体的、対話的で深い学び
○学校の組織力

校訓

「自立」「互恵」「貢献」

学校教育目標

**自らの学びを活かし
互いに助け合い
未来を創造する生徒**

生徒の実態

○全般的に素直で明るいが、精神的なたくましさや、自ら進んで行動する姿勢が弱く、受動的である。
○基本的生活習慣の定着が不十分なことや自己確立の未熟さから思いやりや自制心に欠けやすい傾向もみられる。
○学習に対する意欲は高いが、家庭学習の定着に課題があり、学力が十分でない生徒も見られる。
○中学校区内の３小学校の児童が通学することから、小学校と連携した学習習慣の定着をしっかりと身に付けていく必要がある。

保護者の教育に関する関心

○新設校に対する期待が大きく、学校に対しての支援・協力に積極的
○ＰＴＡ役員の意識は高く、新しい歴史を刻んでいこうとする気運
○要保護・準要保護家庭が多く、経済的な課題を抱えている状況
○地域活性化のために、小・中の連続した９年間で子ども達を育成していく必要性の意識

青柳スタンダード

青柳中に誇りをもてる生徒になるために
「時を守り、礼を正し、正義を貫く」

目指す教師像

・生徒に夢や希望を熱く語る教師
・日々研鑽に励み、授業で勝負する教師
・生徒、保護者、地域から信頼される教師

目指す学校像

・生徒の可能性を伸ばす学校
・活気ある魅力的な学校
・社会に開かれた学校

目指す生徒像

「自ら進んで学び
豊かな人間性溢れる
たくましい生徒」

本年度の重点教育目標

○自らのよさに気づき、主体的に学習に取り組む生徒　＜自立＞
○思いやりをもち、互いに助け合う生徒　＜互恵＞
○自ら行動し、よりよい郷土・社会・人生を創る生徒　＜貢献＞

協　　**働**

経営方針

生徒が伸び、教師が育つ、温かな学び舎

学校経営の基本方針

1　生徒を第一に考えた教育活動の推進
教育活動全体を通じて、生徒を受容し、生徒理解の姿勢を貫き、特性・能力・適性に応じ、主体的に生徒が育つ学校づくりに努める

2　教職員が協働して活動する教育活動の推進
教職員それぞれが持つ特性と創意を十分に認め合い発揮し合いながら、変容する生徒に対応する協働体制をつくり上げ、充実した教育活動に努める

3　保護者や地域から信頼される教育活動の推進
学校・家庭・地域の連携を密にし、互いにもつ教育力を活かしながら相互に信頼のある教育活動に努める

青柳ネットブロック　＜あさひ小・青柳小・弥生小＞
【目指す子ども像】「自ら進んで学び 豊かな人間性溢れる たくましい子ども」

函館市立青柳中学校の教育改革 2023

「自立」「互恵」「貢献」

学校教育目標

**自らの学びを活かし
互いに助け合い
未来を創造する生徒**

本年度の重点教育目標

○自らのよさに気づき、主体的に学習に取り組む生徒 〈自立〉
○思いやりをもち、互いに助け合う生徒 〈互恵〉
○自ら行動し、よりよい郷土・社会・人生を創る生徒 〈貢献〉

教育活動の質の向上

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

○授業改善：教師が「何を教えるか」⇒生徒が「何ができるようになるか」
※主体的・対話的で深い学びの実現
○評価・評定の改善：新指導要領に基づく評価と評定、「指導と評価の一体化」へ
○学習活動：ＩＣＴの活用（学習用端末機の効果的活用
○言語活動・体験活動の充実
○道徳教育：「考え・議論する道徳」の実践
○学習内容の定着化：定期テスト４回＋α
○主体的な学習習慣の確立：家庭学習の習慣化⇒学習例の提示
○読書環境の改善充実：図書館司書と連携した開放

キャリア教育の充実

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成

○１年生：職場訪問・高校調べ等
⇒これまでの学校行事も活用して
○２年生：職場・社会を知る機会の推進
⇒職業人などに来校してもらっての講演会もしくは職業体験学習等
○３年生：高校・専門学校・大学等訪問
⇒これまでの学校行事や教育活動も活用して

生徒主体の活動の充実

生徒が学校づくりに参加し、主体的に行事や部活動に参画

○体育祭・文化祭：生徒による企画立案
○専門委員会：活動内容の企画立案からスタート
○部活動：生徒の自主的・自発的な参加、運動や文化に親しむ（週２回年間110日以上の休養日、平日２時間・休日３時間の活動）、地域との連携
○きまりの考察：自主的に守りながら、主体的な態度で見直し、工夫する活動の機会

生徒と向き合う時間の確保

業務改善を一層進め、教育効果を高める取組へのチャレンジ

○家庭訪問・懇談：家庭訪問→懇談
○通知表：年１回の所見等
○放課後学習：長期休業を含む取組の推進
○青柳ルーム：不登校生徒等への対応

家庭や地域社会との連携・協働

地域の子どもは地域全体で育む取組の充実

○青柳ネットブロック：ＣＳの３小学校１中学校による取組の充実
○図書館開放：地域コミュニティー機能の拡充
○学びサポート：ＣＳ地域ボランテイア等による放課後学習や質問会、進路指導等の学びサポート

学校経営の基本方針

1　**生徒を第一に考えた教育活動の推進**
教育活動全体を通じて、生徒を受容し、生徒理解の姿勢を貫き、特性・能力・適性に応じ、主体的に生徒が育つ学校づくりに努める

2　**教職員が協働して活動する教育活動の推進**
教職員それぞれが持つ特性と創意を十分に認め合い発揮し合いながら、変容する生徒に対応する協働体制をつくり上げ、充実した教育活動に努める

3　**保護者や地域から信頼される教育活動の推進**
学校・家庭・地域の連携を密にし、互いにもつ教育力を活かしながら相互に信頼のある教育活動に努める

本校のリソース・教育改革を進める背景

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた確実な実施
- 生徒一人一人の良さや可能性が育つ教育環境
- チーム青柳中を目指す協働できる教職員集団
- 青柳中学校区がもつ地域の強み（青柳ネット）
- 青柳中学校の特色ある教育活動
- 学校における働き方改革